しが旅のススメ

秋の深まりとともに、東近江市がにぎわいの季節を迎えています。今年も地域の魅力を体感できる期間限定体験イベント「東近江ちいさなたびいち」が24日から12月26日の期間開催されます。

地元で活躍する人々が案内人となり、ものづくりや食、歴史、文化などを体験できる86種類のプログラムを用意。工房や農園を訪ねたり、地域に根差した暮らしの話を聞いたりと、観光ではなかなか味わえない東近江の日常と非日常に出合うことができます。



東近江ちいさなたびいちのサイトはこちらから

■ 東近江ちいさなたびいち

地域の魅力 発見重ねて


気球のある風景＝東近江市芝原町の市総合運動公園で

参加者と案内人との距離が近く、会話を楽しみながら地域のことを、体験をじっくり感じることができるのも魅力のひとつです。さらに、体験を通じて東近江のさまざまな地域を巡ることができるため、これまで知らなかった場所や人、文化に出会えるのも魅力です。訪れるたびに新たな発見があり、「また参加したい」「別のプログラムも体験してみたい」という声も。

さらに東近江の秋はイベントがめじろ押し。11月1日と3日には、農林水産まつりや二五八（にこはち）祭を中心とした秋まつりが開催され、新鮮な農産物や特産品の販売、ステージイベント、マルシェなどでにぎわいを見せます。地域のすてきなモノ・コトが一堂に集まる、まさに秋の収穫祭ともいえるでしょう。

また、11月14、15日開催の熱気球イベント「びわ湖東近江バルーンフェスタ」では、色鮮やかな熱気球が秋空へと舞い上がり、田園風景をゆったりと進む姿が訪れる人々を魅了します。澄み切った空と広がる大地が織りなす景観は、この季節ならではの風物詩といえます。

イベントを巡りながら風景や文化、人との出会いを味わえるのは東近江ならでは。

地域の暮らしの中へ一歩踏み込む「ちいさなたび」。この秋は東近江で、自分だけの小さな発見を重ねてみてはいかがでしょう。帰る頃にはきっと、このまちが今まで以上に身近で特別な存在になっているはずです。「東近江ちいさなたびいち」と、「バルーンフェスタ」の一部体験は、事前の予約が必要です。詳しくはちいさなたびいちと市観光協会のホームページをご覧ください。

（東近江市観光協会・蒲生美和子）


ちいさなたびいち2026イメージ写真＝東近江市平柳町のことうヘムスロイド村で

◇

【アクセス情報】びわ湖東近江バルーンフェスタを開く東近江市総合運動公園（同市芝原町）へは近江鉄道大学前駅から徒歩約20分。車の場合は、名神高速道路八日市インターチェンジ（IC）から約10分。㊐市観光協会＝0748（29）3920

これまでの「しが旅のススメ」はこちらから

（c）.中日新聞社　無断転載、複製、頒布は著作権法により禁止されています